学校番号	１１２

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	生活科学	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	家庭基礎　自立・共生・創造　（東京書籍）						
副教材等	家庭科５５デジタル＋　（教育図書）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

学習内容について自分の生活と結びつけて考えることで、今一度自分自身の生活を振り返り、生活を改善、創造していく力を身につけましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
　家庭基礎で身に着けた家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身につけている。
【思考力、判断力、表現力等】
　生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。
【学びに向かう力、人間性等】
　課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	衣生活	・人はなぜ衣服を着るのか ・衣服は何からできているのか ・健康的で快適な衣生活 ・被服実習の基礎 ・被服実習「エプロン製作」	a: ミシン縫いの技術を身に付け、作品を完成させることができる。 b: 衣服の機能や素材を理解し、TPO に応じた適切な選択ができる。 c: 衣服の機能や素材について自らの課題として捉え、意欲的に授業に取り組めている。	定期考査 作品制作	定期考査	学習状況 プリント記述 レポート
2学期	住生活	・快適な住まいづくり ・健康で安全な住まいの環境 ・間取りの読み取り ・間取り計画	a:生涯を見通した住居の機能や住要求を理解している。 b:住生活の課題や問題点について、解決しようとする力を身につけている。 c：住生活、住環境について生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	定期考査 作品制作	定期考査	学習状況 プリント記述 レポート
2学期・3学期	食生活	・食品加工実習 ・調理実習 ・調理学・食品学 ・家族の食事計画 ・調理実習 ・献立作成実習	a:食品の栄養的特質、調理上の性質について理解している。 b: 食品の調理上の性質について問題を見出して課題を設定し、課題を解決しようとする力を身につけている。 c: 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、食生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	定期考査	定期考査	学習状況 プリント記述 レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度